

困難にある親子との出会いから

～アルコールや薬物依存症のある親とその子どもに対する支援と相談を受ける仕組みを考える研修会～

・オープニング 13:00

講演

・「アディクションのある親とその子どもの持つ困難とその支援」森田展彰さん

・「親子丸ごと支援～むぎのこのお母さんとこども達～」北川聡子さん

・「いちごの会 依頼中」

・トークセッション

・クロージング17:00



参加申し込みQRコード ○会場参加申し込み用 ○ウェビナー参加申し込み用

日時 2026年2月8日(日) 13:00(受付開始12:30)～17:00

会場 大阪市立男女共同参画センター クレオ大阪東・ホール(大阪市城東区鳴野(しぎの)西2-1-21)



森田展彰(もりたのぶあき)

(医学博士、精神科医)

筑波大学医学医療系准教授

1989年筑波大学医学専門学群卒業、1993年筑波大学大学院博士課程修了。長年にわたり、薬物依存症や子ども虐待関連の業績を積み重ねてきている。DV家庭内暴力の加害者への治療プログラムなども専門とする。主な研究テーマは、子ども虐待、DVの加害者・被害者のケア、アディクションおよびその家族への治療・援助である。



北川 聡子(きたがわさとこ)

(社会福祉法人麦の子会理事長・公認心理師)

大学卒業と同時に仲間と共に、障がいのあるこどもたちが毎日通える場として、むぎのこを設立。1996年に社会福祉法人として認可を受ける。こどもへの支援を続ける中で、お母さん達への心のケアの必要性を感じ、CSPPカリフォルニア臨床心理大学院でアディクションやトラウマケア等を学ぶ。以降、お母さん向けのカウンセリングやトラウマワークショップ等をおこない、心理支援や家族支援を通して人が人の中で共に回復していくことを大切にしている。現在は、児童発達支援センターを中心に、妊娠期・乳幼児期・学齢期・成人期・高齢者までを支援する50以上の事業所を運営。「子育ての村」を作り上げた。

・申し込み締め切り
会場参加のみ
2月2日(月)

【開催内容に関するお問い合わせ】
リカバリハウスいちご長居
メール: ichigo-15-nagai@kbd.biglobe.ne.jp
(06-6694-4701)